

令和2年度 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月11日

事業所名 ADDS Kids 1st荻窪

配布数：7部 回収数：6部

設問	はい	いいえ	計	職員の意見（工夫している点・改善点）				意見を踏まえた 改善点・改善目標
	(人)	(人)	(人)					
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	6	個別指導が主なので、小部屋を設けて指導しています。	主に個別指導を行っており、個別指導では個室が利用できるようになっている。			
職員の配置数は適切であるか	5	1	6	個別指導の際は、1対1で丁寧にお子さんを見ることを心掛けています。小集団についても2名以上の職員を担当とし、手が足りない場合は適宜担当外のスタッフが補佐をしています。	詳しいことは分かりませんが、荻窪の事務処理をしながらケースを持っていると残業が多くなって大変そうに見える。	保育士や心理士等も配置されている。		・事務処理の効率化ができるよう書類様式の見直しやICTの活用を行っていきます。
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	6	活動に集中できるように、物を見えないようにしたり、手が届かないようにしている。	個別指導を行う部屋は扉付きの個室となっており、集中して学習が進められる環境となっている。	個室は療育指導に集中しやすい、構造化された空間となっております。	おもちゃを完璧に完全に隠すのは、現在の空間では難しいこともあるが目が付きにくいようにしている。	
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	6	利用者の退所後に消毒をしている。	毎日施設内の清掃を行っている。また、現在はコロナウイルスによる感染症予防のため使用したおもちゃの消毒も1日数回行っている。	毎日掃除とコロナウイルス対策でおもちゃの除菌を行っています。	毎日みんなで掃除時間を設けている。	

設問	はい (人)	いいえ (人)	計 (人)	職員の意見（工夫している点・改善点）			意見を踏まえた 改善点・改善目標	
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	6	スーパーバイザーと定期的に支援の振り返りを行っています。また、職員どうしても気軽に支援について話し合える事業所づくりを心掛けています。	個人ではメンターとの面接を半期に一度行い、振り返りと目標設定を行っている。事業所の運営等に関しては、適宜職員での会議を行っている。現在は定期的な開催が現在が難しいが、週に1度や隔週での開催がある。			・4月以降は職員会議を曜日・時間固定で開催できるように調整を行います。
保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	6	今年度も保護者向け評価を実施しています。その他適宜お声を頂いたものについては事業所内で検討を行っていますが、常に改善する点があると感じています。	年に一度の評価だけでなく、保護者の方からご要望を頂いた際には、事業所として話し合い改善できるように努めている。			
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	6	事業所評価及び保護者向け評価の内容を毎年ホームページで公開しています。				
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	6	第三者による外部評価はまだ実施したことがありません。				・今後第三者評価を行うか検討をしていきます。 ・また第三者評価について知らない職員もあり、事業所の評価方法について職員に周知します。

設問	はい (人)	いいえ (人)	計 (人)	職員の意見（工夫している点・改善点）			意見を踏まえた 改善点・改善目標	
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	6	入職の際に職員は全員ABAについて集中的な研修を受けています。その後はOJTでスーパーバイザーのスキル指導が定期的に入っている他、その他必要に応じて研修を行っています。入職後数年の職員のフォローアップの研修などは、今後もう少し体系化されると良いと感じています。	スーパーバイザーよりスーパーバイズンの機会が多く設定されており、セラピストとしてのスキル向上ができています。			・入職後何年か経った職員の研修内容を検討していきます。
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	6	保護者の方にニーズの聞き取りを行うほか、定期的に発達検査を実施しています。	発達検査や質問紙等によるアセスメントを定期的実施し、支援に反映させている。			
子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	6	新版K式発達検査の他、適宜質問紙検査を行っております。	発達の評価には、新版K式発達検査、Vineland等標準化されたアセスメントツールを多く用いている。			
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	6	区外、都外など遠方から利用される方がほとんどのため、地域支援についてはあまり項目として設定されていない。				・発達支援、家族支援が主だった内容になっているが、杉並区など近隣にお住まいの方から地域支援でできることがあるかニーズを踏まえて検討していきます。

設問	はい	いいえ	計	職員の意見（工夫している点・改善点）				意見を踏まえた 改善点・改善目標
	(人)	(人)	(人)					
児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	6	計画に基づいた発達支援の内容を、個別の課題表として保護者の方と共有しています。	計画に掲げた目標を意識して課題構成等を行っている。			
活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	6	スーパーバイザーとプログラム内容を相談したり、職員同士で提案しながら課題設定を行っています。	困ったら、案を提供してくれる。	スーパーバイザーや職員同士で相談を行える環境であるため、困った際にはすぐに相談することができている。		
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	6	お子さんに合わせて活動プログラムの内容に変更を加えています。その機会を増やしたいというご要望もあるため、今後プログラム見直しの機会を増やせるよう事業所内で検討を行っていきます。	活動の見直しを、支援を通して観察し子どもに合わせて行っている。	お子さんの様子に合わせて、課題や活動内容を変更しながら行っている。また、見直しの機会を担保できるように事業所全体として検討しているところである。		・一人一人のお子さんでプログラム内容を見直す機会を増やせるよう、支援枠や時間、業務の調整を行っていきます。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	6	集団活動でできなかったことを個別活動で課題に取り入れたり、個別活動でできたことを集団活動に般化させたりする。				

設問	はい	いいえ	計	職員の意見（工夫している点・改善点）				意見を踏まえた 改善点・改善目標
	(人)	(人)	(人)					
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	6	<p>集団活動について打ち合わせを行っています。個別指導が主なためその場合は打ち合わせは行っていませんが、必要に応じて疑問点を話し合ってから支援に入るようにしています。</p>	<p>集団活動では、その日の流れや前回の反省点を確認している。</p>	<p>集団指導は複数のセラピストで担当するため、事前に打ち合わせをしている。</p>		<p>・個別指導についても、支援前に疑問点が生じている際は他の職員と打ち合わせができるよう声を掛け合っていきます。</p>
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	6	<p>集団指導については毎回振り返りを行っています。個別指導については定期的にスーパーバイザーが入り他は個々で振り返りを行っています。改善が難しい点は他の職員と話し合うようにしています。</p>	<p>話し合いの場を設ける。</p>	<p>職員間で振り返りの場を設け、次回の支援がより児童の発達に添えるよう、また児童の気持ちに共感できるよう、意見を出し合い、共有している。</p>	<p>活動やお子さんの様子を共有して振り返りを行い、次回の指導に生かしている。</p>	
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	6	<p>常に支援記録を比較し、検証を行っている。</p>	<p>個別指導、集団指導すべての指導において、記録を取るようになっている。特に、個別指導では、課題の試行ごとに記録を取り細やかな記録を取っている。</p>			
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	6					

設問	はい	いいえ	計	職員の意見（工夫している点・改善点）				意見を踏まえた 改善点・改善目標
	(人)	(人)	(人)					
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	6					
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	6					
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない							
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない							
移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	6	保護者の方のご要望に応じて、保育園の先生に見学に来ていただくことなどをしております。	どなたが行ってくれているのか、あまりよく知らない。			・機会がない職員もいたようなので、過去にあった移行支援の事例について共有していきます。
移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	6	保護者の方のご要望に応じ就学情報共有シートを作成しています。	ご希望の方に、就学情報共有シートの作成を行っている。			
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	6	研修等に参加していますが、今後機会を増やしたいです。	研修に参加している。			・他機関の研修に参加しやすいよう、希望があれば支援人員の調整を行ってきたいです。
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	6					・今のところ機会はありませんが、保護者の方からも必要性を感じないという声があるため今後ニーズがあれば検討していきます。
（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	6					

設問	はい (人)	いいえ (人)	計 (人)	職員の意見（工夫している点・改善点）			意見を踏まえた 改善点・改善目標
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	6	支援後に毎回フィードバックを行っています。	お話がこちらから一方的でなく、話を聞く様にしている。	課題の状況について、課題構成システム等を用いて共有している。また、支援を行った後は口頭で説明を行っている。	
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6	0	6	ご利用開始時に必ずペアレントトレーニングを受けていただきます。	ペアレントトレーニングの要素の入ったプログラムをはじめに受講いただいている。		
運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	6	契約時に書面を確認しながら行っています。	利用開始前に口頭での説明を行っている。		
児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	6	契約時、個別支援計画の更新時に行っています。			
定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	6	保護者の方のご相談内容に応じて課題を見直しています。			
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	6	保護者向けの研修会等で保護者同士が関わる機会を設けている。ただし今年度はコロナウイルス蔓延の影響によりオンライン開催としているため、活発に交流はかかれていない。			・オンライン研修以外の交流方法、もしくは、オンライン開催の研修の中でも交流を図りやすい研修の運営を検討していきます。

設問	はい	いいえ	計	職員の意見（工夫している点・改善点）				意見を踏まえた 改善点・改善目標
	(人)	(人)	(人)					
子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	6					
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	6	必要に応じホームページやメールで発信しています。今後発信の方法を検討していきます。				・まずはメール連絡や掲示を充実させていきます。
個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	6					
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	6	どのツールがよく伝わるか配慮が必要な保護者の方・お子さんの特徴を捉えるように努めている。				
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	6	現時点では行事などは開催していません。				
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	6	訓練や保護者への周知の機会は今後の課題です。				
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	6	法令で定められた避難訓練を行っています。個別指導で短時間でのご利用が多く、すべての方のご参加が難しい状況です。				・実際の災害に備えられるよう、参加者を含め、実施方法を検討していきます。
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	6	「もしものときの安全シート」で管理しています。				

設問	はい (人)	いいえ (人)	計 (人)	職員の意見（工夫している点・改善点）				意見を踏まえた 改善点・改善目標
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	6	あまり機会がありませんが、必要があれば指示書に基づく対応を行います。	保護者の方に書いていただいた「もしもの時の安心シート」や口頭で確認をしている。現在のところ、食物アレルギーのあるお子さまはいない。			・「もしもの時の安心シート」について事業所内での共有度を高めていきたいです。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	6	ヒヤリハットがあった場合、その都度書類に残して作成している。				・ヒヤリハットの事例をより多く残せるよう職員に周知していきます。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	6					
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	5	6	身体拘束を行わない方法で療育を行っています。	その例にまだ遭遇していない。			